

# 名誉会員・会長表彰

2022年(令和4年)6月15日(水) 会場：大手町サンケイプラザ

※新型コロナウイルス感染拡大阻止対策を踏まえ表彰式は希望者のみ出席

**【名誉会員】齊 藤 有 司**

(建設／総合技術監理部門)



## 1. 略歴

技術士登録(S63)  
日本技術士会入会(H4)  
北海道技術士センター事務局長(H7～H12)  
北海道支部事務局長(H9～H14)  
北海道支部副支部長(H15～H20)  
総括本部理事(H17～H20)  
北海道支部長\*(H21～H24)  
北海道本部特別顧問(現在)

※ H23より北海道本部へ名称を変更

## 2. 名誉会員に推挙されて

この度、日本技術士会の名誉会員に推挙戴きました。各位の皆様には、厚く御礼申し上げます。

昭和63年に技術士登録をしてから、34年が経ちました。技術士会に入会したのが平成4年でした。それから、当時の北海道支部事務局長の(故)青木技術士のご指導の下、全国大会には必ず出席して参りました。そこで交流した、全国の支部長・事務局各位の皆様のお事を忘れる事はありません。「人が人を創る」という言葉がありますが、正しくその通りで、地方組織の繋がりの強さの原点は、人として互いを尊敬し合っている事にあると確信致しました。平成17年から統括本部の理事として、平成21年からは北海道支部の支部長として活動させて戴きました。平成23年から技術士会は公益社団法人となり、中立性・公益性を堅持し高い倫理観と適正なガバナンスを重視する組織になりました。これまでの長い技術士会活動の中でも、「北東3地域本部交流研修会」の事は忘れる事が出来ません。北陸の中山技術士、東北の吉川技術士には、本当にお世話になりました。お陰様で、北陸・東北の技術士各位との、人と技術の強い繋がりが出来ました。現在の北海道本部については「コンサルタンツ北海道」等で、今日的な課題の克服と優れた組織力を発揮されておられる事を確認し、とても嬉しく思っております。



### 1. 略歴

昭和 46 年 3 月 北海道大学大学院理学研究科修士課程修了  
昭和 47 年 4 月 野外科学(有)入社  
昭和 47 年 7 月 第 14 次南極地域観測隊(地質)  
昭和 62 年 2 月 技術士(応用理学)登録、同年に技術士会入会  
平成 7 年 7 月 (有)オデッセイ設立  
平成 8 年 6 月 道建コンサルタント(株)入社  
平成 15 年 4 月 技術士(総合)登録

### 2. 会長表彰を受賞して

先日、日本技術士会から連絡があり、永年にわたり会員として貢献したということで表彰しますという内容でした。びっくりして、会長表彰の規定を確認すると、(1)入会歴が 35 年以上であって、本会の発展に貢献のあった正会員とあります。特に貢献といえるような活動をした覚えはないので、前半の入会歴が該当すると分り、もうそんなになるんだと感慨深い思いに浸りました。

私は技術士の受験資格年齢になるとすぐに受験しましたが、なかなか合格しませんでした。しばらく経ってから、得意であっても下請業務の内容では難しいのではないかと思い、当時数少ない元請業務の中から、河口の変遷を主題にして河川、海流、潟湖、砂州、魚類、底生生物、地質を絡めて提出したらやっと合格でき、ほんとうにほっとした記憶が蘇ってきます。

技術士会では道央技術士会と北海道本部防災委員会地盤部会に参加させていただき、多くの知見を得ることができて感謝しています。

特に現地見学会はできるだけ参加するようにして、専門部門に限らず多くの部門の見学会に参加できたことは貴重な経験になりました。最も記憶に残っているのは、サハリンの見学会で、帰国直前に 9.11 が起きたため、忘れられない思い出となっています。

2001 年から始った CPD は規則に従って登録しています。登録者数を見ると意外なほど少ないことに驚いています。こんなに少なくても大丈夫なんですか。今後どれだけ技術屋として活動できるか分かりませんが、技術士会のためにも微力ながら貢献したいと考えていますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



## 1. 略歴

技術士登録(H1)  
日本技術士会入会(H23)  
北海道技術士センター 理事(H7～H14)  
北海道技術士センター 青年技術士協議会 会長(H7～H8)  
北海道技術士センター 事業委員会 委員(H7～H12)  
北海道本部 幹事(H25～H26)  
北海道本部 リージョナルステート研究委員会 代表(H24～H26)  
北海道本部 リージョナルステート研究委員会 幹事長(H27～現在)

## 2. 会長表彰を受賞して

- ④ たことがない「表彰します」という統括本部の通知を受け、道本部から推薦を頂いたことを思い出しました。
- ④ なにかの間違いではと振り返る自分がいます。最初に技術士2次試験に合格してから40年弱ですが、
- ④ さかのぼってみても、技術士会に貢献した自覚はないままに、6月15日に表彰状を授与されてきました。
- ④ まことにありがたいことです。推薦を頂いた北海道本部の皆様には特に感謝申し上げます。
- ④ ある時は事業委員会、全国大会の準備、青年技術士協議会、そしてRS研究委員会で40年間活動してきました。
- ④ りゅうりゅう辛苦とは無縁の楽しい光景ばかり思い出され、恵まれた時間を過ごしてこれたと嬉しく思います。
- ④ がんばって活動した訳でもなく足跡を刻んだ訳でもない活動でしたが、思い出はたくさんできました。
- ④ ともあれ、間もなく70歳になる身ですので、今後の活動では一層雑巾がけに徹する所存です。
- ④ うんさん霧消と指摘されないよう研鑽することを誓い、紙面を借りてお礼申し上げます。



## 1. 略歴

技術士登録 (H12)  
日本技術士会入会 (H18)  
北海道本部 青年技術士交流委員会 副委員長 (H19～H20)  
北海道本部 青年技術士交流委員会 委員長 (H21～H22)  
統括本部 青年技術士交流委員会 委員 (H21～H22)  
北海道支部 幹事 (H21～H22)  
北海道本部 幹事 (H23～R4)  
北海道本部 北海道 STD 研究委員会 副幹事長 (H23～現在)

## 2. 会長表彰を受賞して

この度は、日本技術士会会長表彰を受賞いたしました。ご推薦を頂きました北海道本部長をはじめ関係者のみなさま、また、技術士会活動の機会を与えてくださいました先輩技術士のみなさまに感謝申し上げます。

私は 1999 年度に合格しました。23 年前を振り返れば、当時の試験は 8 月猛暑の中、エアコンの無い大学大講堂で実施され、答案用紙 15 枚 12,000 文字を書きあげるという過酷なものでした。私は、運良くその年に合格し、直ちに会社先輩の紹介で青年技術士協議会に入りました。

青年技術士協議会では北海道はもとより全国に広がる青年の皆様とたくさんの交流活動を行いました。この活動は私にとって、かけがえのないものとなり、その後の技術士会活動において大きく役に立ち現在に至っていると考えています。現在の技術士に求められるのは技術一辺倒だけではなくコミュニケーション、リーダーシップ、マネジメントなど幅広い資質能力が求められています。

今後はさらなる研鑽を積み重ね幅広い技術者を目指すとともに、今までの経験を生かして後輩技術士の育成に努めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



会長表彰受賞後(武智技術士、大熊本部長、樋詰技術士)